

製品名: AOX1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06965**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	AOX1
別名	AOX1; AO; Aldehyde oxidase
遺伝子 ID	316.0
SwissProt ID	Q06278
免疫原	抗血清はヒト AOX1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 521-570

背景

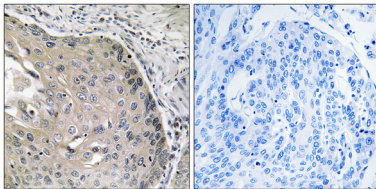
アルデヒドオキシダーゼは過酸化水素を生成し、特定の条件下ではスーパーオキシドの生成を触媒することができる。アルデヒドオキシダーゼは、筋萎縮性側索硬化症の候補遺伝子である。[RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: アルデヒド + H(2)O + O(2) = カル

ボン酸 + H(2)O(2),注意: 当初 (PubMed:8248161) はキサンチン脱水素酵素と考えられていました。補因子: 2つの2Fe-2Sクラスターに結合します。補因子: FAD,補因子: モリブドプテリン,類似性: キサンチン脱水素酵素ファミリーに属します。類似性: 2Fe-2Sフェレドキシン型ドメインを1つ含みます。類似性: FAD結合PCMH型ドメインを1つ含みます。サブユニット: ホモ二量体,組織特異性: 肝臓に豊富、肺、骨格筋、膵臓に低濃度。心臓、脳、腎臓では検出されません。,

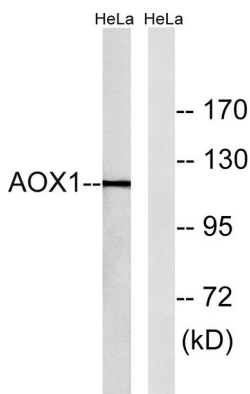
研究分野

バリン、ロイシンおよびイソロイシンの分解、チロシン代謝、トリプトファン代謝、ビタミン B6 代謝、ニコチン酸およびニコチンアミドの代謝、薬物代謝。

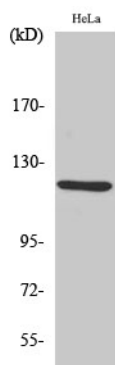
画像データ



AOX1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



AOX1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



AOX1 ポリクローナル抗体を 1:2000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。